

# コシアカツバメ

*Hirundo daurica* Linnaeus

## スズメ目ツバメ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

### 選定理由

能登地方を中心に生息しているが、近年の個体数の減少が著しい。

### 形態

全長19cm、雌雄同色で、ツバメより大きい。頭、背など上面は黒色で赤褐色の腰が特徴。胸、腹など下面は淡褐色で、細かい従斑がある。

### 国内分布

夏鳥として九州以北に渡来するが、ツバメより数は少ない。かつては西日本中心の分布だったが、近年分布域は北上し、東北、北海道でも繁殖を始めた。

### 県内分布

海岸よりの住宅地や山間のビルなどに繁殖し、能登地方を中心に局地的に分布する。

### 生態

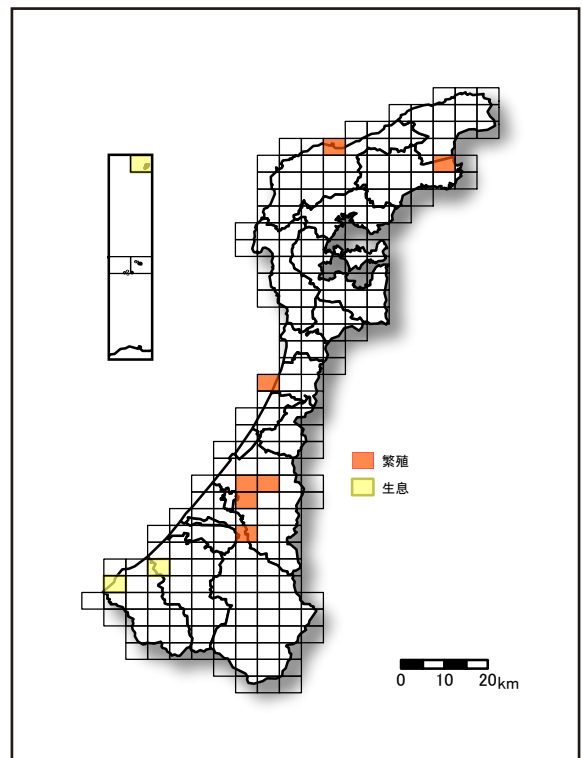
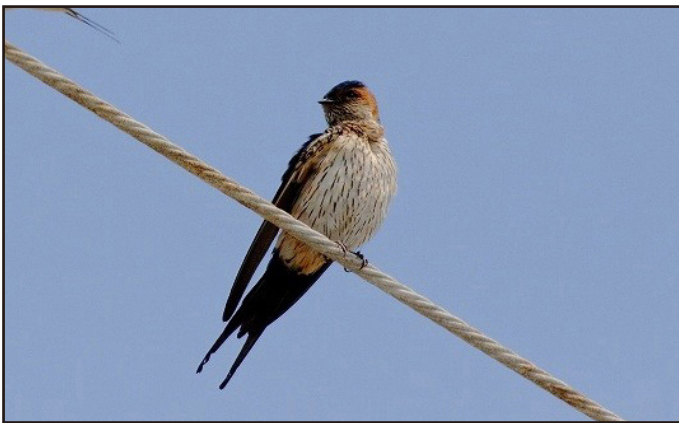
ツバメの生態に似るが、ツバメほど群れる事はなく大きな群れは作らない。とっくり型の特徴的な形の巣を作り、一般家屋よりもビルや橋などコンクリート製建造物を好む。

### 生息地の条件

海岸よりの市街地で見ることが多いが、必ずしもそれが条件ではなく、詳しくはよくわかっていない。

### 生存の危機

近年減少が著しいが、減少の原因はよくわかっていない。(A, D)



県内の分布